

ときがわ町水道審議会会議録

会議の名称	令和3年度第4回ときがわ町水道審議会
主な議題	(1)「水道料金の見直し(改定)について」の答申(案) (2)その他
開催日時	令和3年11月9日(火) 開始 14時00分 終了 14時50分
開催場所	ときがわ町役場第二庁舎 3階協議会室
会議録の公開(非公開・一部非公開)とその理由	公開
出席者	小宮正委員、野原和夫委員、岡本忠委員、峯岸正明委員、 前田郁子委員、清水隆委員、戸口隆雄委員  水道課伊得正巳課長、小林大介主幹、小輪瀬泰主事
審議等内容又は概要	・清水隆会長あいさつ  議事1 「水道料金の見直し(改定)について」の答申(案) 議 長 清水隆会長 説明者 事務局 説明の概要 「水道料金の見直し(改定)について」の答申(案) を事務局が説明  質 疑 議 長 事務局から水道料金の見直し(改定)についての答申 案の説明があった。何か質疑のある方はいるか。 委 員 付帯意見(案)についてお話をさせていただく。2番の「水 道使用者に改定の必要性や改定内容を十分に周知するこ と」、3番の「有効な漏水防止対策を実施し、有収率の更 なる向上を図ること」についてだが、ときがわ町の有収 率は現時点では75.2%くらいである。他の自治体を見る と、少ないところで80%程度であり、多くは90%以上にな っている。その有収率を上げながら、料金改定をする のであればみなさんの合意形成は生まれると思う。ただ、 このまま有収率を上げないで、料金改定をするだけだと

	<p>反発はあると思う。そういう点を、今後どのように説明してみなさんに理解を得るか、その点について伺う。</p>
事務局	<p>既に広報紙などを用いて水道についての説明をさせてもらっているが、悪いところも含めて公表し、丁寧に説明していくしかないと思う。昨年の決算上では、75.2%という厳しい数字が出ている。県企業局の技術支援も受けながら、今年度はなんとか上昇の見込みが立っている。今後も努力を重ね、有収率の向上に努めていきたい。</p>
委員	<p>努力はわかる。しかし、あくまで数字が基準になる。漏水部分の金額も利用者が負担しているという形になるので、そこのところはきちんとした方向性を示していく必要があると思う。ちなみに、川口市の例を見てみると、25.01%の料金値上げで、住民の合意形成を得られないということが大きな問題になった。低所得者世帯の水道料金の減免を求める声が出ていたようである。ときがわ町の場合は約39%で、上げ率としても高い水準であり、みなさんが理解されるような説明をきちんとやっていただきたい。もう1点、県水の料金引き上げの話は来ているのか。</p>
事務局 議長	<p>現時点では、ない。 令和6年度までは現行料金のまま据え置くことが決まっている。</p>
委員	<p>有収率を上げることの周知方法として、たとえば老朽化した配水管をこれだけ修理したので、これだけ有収率が上がったといった実績は出せるのではないか。そのために、お金が必要という話になる。これだけお金をかけて、石綿管もなくなってきたと思うのだが、老朽管の減少が進んでいくと有収率も上がっていくという形がいいと思う。</p>
事務局	<p>石綿セメント管も、ほぼ完了する見込みが立つまで更新してきたが、逆に有収率が下がっているという現実がある。これからは更に、ビニル管等の老朽化が進むので、それらの更新をしていかなければもっと悪くなってしまう。更新とあわせて、漏水調査による早期発見と修理を重ねていくという2本立てでいかないと、なかなか有収率は上昇しない。この向上対策は、これからずっと続けていかなければならないことであり、様々な研究をしながら進めていくしかない。それをどうやってPRしていく</p>

	<p>かも、課題だと思っている。</p> <p>委員 漏水修理の箇所として給水管が多いとのことだが、本管を新しくすれば給水管の取り出しもみんな新しくなるので、それなりに漏水は減っていく気がする。それから、一般の町民は水道料金に対して一般会計から7,000万円も入っているというのは知らないと思うので、これだけ入れているとときがわ町の水道事業は厳しいというのをちゃんと理解してもらった方がいい。</p> <p>委員 有収率が低くなる要因というのは、漏水だけなのか。</p> <p>事務局 全部が漏水とは言い切れないが、ほぼ漏水が原因と見込んでいる。全体の水圧が高いということもあり、漏水の復元現象が多く起きている。修繕はそれなりの数をやっているが、配水管の布設替も多く費用をかけてやっているが、有収率が上がらないことは非常に辛いところである。漏水も表面に出てきてくれれば早期に修繕できるが、データを見ているとどこかで漏水していることは確かだが、道路が湿るといったことがなく、漏水箇所がどこかわからないといったことが以前よりも増えている。しかし、当然そのままではいいとは思っておらず、なんとかしなければいけないということで、夜間漏水調査や企業局の支援も受け、効果的な方法がないかと探りながらやっている。</p> <p>議長 ときがわ町の地域特性的なもので、低い所から高い所にポンプアップで送るにはロスも出て、漏水も起きやすいというのはある。平地であれば有収率90%以上を目標に徐々に上げていけるが、ときがわ町の場合はそういった現状も踏まえた中で、でもこういう努力をすることで極力上げていくということ、町民の理解が得られるよう、説明をしっかりとってもらいたいというのがみなさんの意見だと思う。そこをきっちりやって、先ほど有収率が下がり気味だという話もあったが、こういうことをやることによって有収率を上げるという何かしらの具体的なものを行い町民の理解を得るべきなのではないかと思う。</p> <p>事務局 今年度の状況については、上半期の状況ではあるが80%を超えそうな見込みである。</p> <p>議長 このような取組でこのように上がっているということ、PRしながら、それでも経営状況が悪いので料金改定を</p>
--	---

	<p>しなければならないということを、理解してもらえないと思う。</p>
事務局	<p>付帯意見の2番のところで、細かい所もできるだけ丁寧に説明して周知していきたいと思っている。</p>
委員	<p>そこはわかりやすく、今までやってきた努力がこのように実っているが、それにはお金がかかるといった説明が大事だと思う。それと、比企管内の自治体の中であまりにも格差が出たとき、どうしてこれだけ格差が出たのかも含めて説明していただきたい。たとえば、ときがわ町は逆ザヤでこういう現象が生まれているからなど、その点もひとつ大事な問題だと思う。どうしても比企管内全体から見ると高いので、そこの説明もした方がいいと思う。もう1点、料金回収率についてときがわ町は74%である。その料金回収率というのは、料金改定にいろんな影響があるのか。</p>
事務局	<p>料金回収率とは分母が費用で、分子が料金収入である。分子は料金収入だけで高料金対策補助金は除かれてしまう。その7,000万円分がある以上、料金回収率は低いままである。</p>
委員	<p>先ほどの格差についての問題は、どのような説明をするのか。</p>
事務局	<p>地理的条件の他、施設が多い。その分、経費や更新費用も掛かる。また、市街地や平野部では、たとえば1kmの間に家屋なども多く、効率的に給水することができるが、ときがわ町の場合は同じ1kmでも全然配っていない地域もある。給水人口密度がときがわ町はかなり低い。そういった地理的条件が、市街地とは違う。</p>
委員	<p>そういうことを踏まえて、わかりやすく説明したほうがいい。</p>
事務局	<p>そのあたりも、広報紙で始めた特集の中で説明の仕方を考えながら、周知をしていきたい。</p>
委員	<p>料金回収率が低いというのは、一般会計から7,000万円入れるから低いということだが、料金回収率が低いというと、実際使ったけれども払わなかった人がいるのではないかといった勘違いが出てきそうである。</p>
事務局	<p>用語がそのように感じさせるが、それは収納率のことである。そこは、注釈を入れてわかりやすい表現で、説明していきたい。なお、収納率はほぼ100%である。</p>

	<p>委員 我々はいろいろ細かく説明していただいているので、料金改定が必要というのを理解できたが、一般住民の方にはわかりにくいだらうと思う。比企地区の中で高いのは、考えればわかることだと思う。比企の中で比べるのはあまりよくない。たとえば近隣の山を持っているような自治体や、地方の自治体との方が比較になる。比べることは、密度の違いなど条件の違いもある中で難しいと思う。山間部で、どうしても圧力を上げて配らなければいけない所はこういう苦労があるというのをお示しするのもいいと思う。あと、高速道路の工事の商業で、中身がどうなっているのかを目で見てわかるようにし、だから必要だというのを訴えかけている。広報で写真等を組み込んでやっていると思うが、そういうものがわかりやすく、たとえば説明するとき動画のようなものを利用するのもいいと思う。そして夜もみなさんが寝静まっている間に調査をして、苦労して有収率を上げているということをお知らせいただくと、これだけ上げるということもご理解いただきやすいと思う。</p> <p>事務局 先ほどの高速道路の商業はわかりやすいと思っている。動画ではなかなか難しいと思うが、ホームページに漏水や、夜間漏水調査をやっている姿を動画の一部でも載せると、非常にわかりやすいと思った。いろいろな工夫をして説明できるように努力する。</p> <p>議長 水道事業も、和歌山市の水管橋崩落事故が日本全国の報道で出て、あのようにならないように日頃から点検をしっかりとって維持しているということをみなさんにPRできればいいと思う。特に、広報も見える化で誰が見てもわかるような広報になることが、これからは求められる。事務局としても町民の理解を得るために、そういうものを取り入れていってもらえたらと思う。</p> <p>委員 今まで安かったのだから、先ほど言ったとおり高料金対策補助金 7,000 万円が町から出ているということは伝え、しかしお金が足りなくなるというのを説明した方がいい。広報等を出して住民に知らせた方がいい。</p> <p>議長 内容的には、自分たちが審議してきた内容を網羅していると感じているがいかがか。意見はあるか。</p> <p>(なし)</p>
--	--

	<p>討 論</p> <p>議 長        それでは、続けて討論に入る。討論またはご意見、いろいろ伺ったが何かあるか。</p> <p>(なし)</p> <p>議 長        それでは、説明いただいた答申案について、この案で認めるということによろしいか。</p> <p>委 員        はい。</p> <p>議 長        全員の賛成をいただいたので、この答申案をもって、答申ということにさせていただく。議事1については、以上で終了する。</p>
	<p>議事2    その他</p> <p>今後の答申案の取扱いなど、今後のことについて</p> <p>説明者        事務局</p> <p>説明の概要    12月中旬を目途に答申の予定</p>
	<p>閉会        小宮正副会長閉会あいさつ</p>
<p>配布資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・(案) 水道料金の見直し(改定)について(答申)</li> <li>・参考資料 ときがわ町水道審議会条例</li> </ul>